

平成20年度 第1回見沼区区民会議 議事録

日 時	平成20年4月24日（木） 18:30～20:30
会 場	見沼区役所 地域活動室
出席者 (敬称略)	<p><委員> 伊藤邦介(公募委員)、大川野英子(見沼区民生委員・児童委員協議会)、小野達二(NPO法人自然観察さいたまフレンド)、合谷憲治(青少年育成さいたま市民会議 見沼区連絡会)、白瀧康次(NPO法人地域人ネットワーク)、田口和子(さいたま市保健愛育会 見沼区支部)、田中秋弘(埼玉中央青年会議所)、中澤恒雄(公募委員)、長沼和子(公募委員)、中村とさ子(公募委員)、西尾真治(公募委員)、野崎初太郎(見沼区自治会連合会)、林一三子(まちづくり市民ネットワーク・さいたま 見沼区部会)、高橋年雄(七里地区社会福祉協議会)、丸山深雪(さいたま市交通安全保護者の会(母の会)見沼支部)、宮本英典(さいたま市PTA協議会 見沼区連合会)、盛香織(芝浦工業大学)</p> <p><見沼区> 浅見孝雄(区長)、安藤徳雄(副区長)、櫻沢健司(区民生活部長)、大澤成夫(健康福祉部長)</p> <p><事務局> 中村友一(区民生活部コミュニティ課長)、金井利夫・長谷川彰・鈴木喜菜(区民生活部コミュニティ課)</p> <p><コンサルタント> 三浦匡史、安部邦昭 (NPO法人都市づくりNPOさいたま)</p> <p><傍聴者> 0名</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回議事録の確認 (2) 部会報告確認事項 (3) 活動報告書について 3. その他 4. 閉会
資 料	資料1. 平成19年度 第11回見沼区区民会議 議事録案 資料2. 見沼区区政方針 資料3. 自然環境部会より 資料4. 生活安全部会報告 資料5. 第3期見沼区区民会議全体会 部会報告（ネットワーク部会） 資料6. 見沼区区民会議だより第12号素案 資料7. 平成19年度見沼区区民会議活動報告書（案）

以降は、委員の発言等に基づき、会議内容の骨子をまとめたものです。従って、会議の趣旨や発言の関連性に照らし、同様の意見の集約、発言順の編集等を行っています。

■議事

1. 開会

- ・見沼区役所内における新任担当者の紹介
- ・見沼区区政方針の説明

(1) 前回議事録の確認

特に変更無し。

(2) 部会報告確認事項

[ネットワーク部会]

<部会長より報告>

※配布資料「ネットワーク部会資料」を参照

○拡大区民会議について

- ・平成20年8月23日(土)、見沼区役所2F大会議室他にて開催。
- ・1テーマにつき5名以上の参加者を目指したい。
- ・第1部は、「ふるさと再発見！見沼の自然と歴史」と題し、長沢氏による講演を行う。
- ・第2部は、3グループに分かれたワークショップを実施する。テーマは、以下の通り。
 - テーマ1：「みどりに親しみ、みどりを守り育てる」（自然環境部会担当）
 - テーマ2：「区民相互の『コミュニケーションづくり』の推進と、『安全安心なまちづくり』の推進」（生活安全部会担当）
 - テーマ3：「あなたもボランティアになってまちづくりを ～ボランティア活動の第一歩を踏み出そう～」（ネットワーク部会）
- ・ワークショップは、部会メンバーをコーディネーターとし、コンサルタントが補佐をして進める。
- ・集客、参加者の募集は、各委員からも積極的にお願いしたい。
→コミュニティ会議登録団体にも、声をかけていただきたい。
- ・芝浦工大の学生にも参加を呼びかけたい。

○区民会議情報交換会について

- ・全体会と分科会の2部構成で行われた。
- ・区民会議の任期は2年であるが、継続性をどのようにして保つかについて、北区より、現役のサポーターとして活動する「OB会」を設立した事例の紹介がされた。
- ・大宮区からは、区民会議の成果をコミュニティ会議と連携することで活動を継続している事例が紹介された。

- ・ホームページの運営について、中央区より、人気の高い掲示板の運用について報告があった。掲示板を運用するにあたっては、セキュリティをあまり厳しくしないことで、多くの書き込みを受けている。また、3名体制で常に書き込みをチェックしているが、ほとんど不適切な書き込みはない旨が報告された。
- ・分科会でも引き継ぎに関する課題が話題に上った。北区では、第2期の取り組み課題を基に区の協議会を立ち上げたことが報告された。
- ・チャレンジ提案事業については、応募の手引きを作成し、継続性を持たせている。
- ・「にぎわい」づくりのための取り組みについては、大宮区より、部会で市の未利用地を調査し、市に利用方法に関する提案を行い、タクシープールと駐輪場の設置が実現したとの報告があった。
- ・人材の育成については、岩槻区より、目白大学の学生に企画段階から参加してもらうべく準備を進めているとの報告があった。
- ・大宮区からは、ホームページの作成を区内の専門学校に委託している事例が紹介された。
- ・防災の問題について意見交換をしたが、自治会を中心とする既存団体が中心となつてかなりの取り組みが成されており、そこに入り込んでいくことが難しいとの認識が示された。では区民会議として何が出来るかを考えたときに、避難先施設の耐震性や避難経路を把握することなどがあるのではないか？との提起があった。
 - 自治会など、様々な団体が既に行っている情報を、まずは整理したい。
- ・避難ルートを、区内の全ての掲示板に貼りだし、日常的に避難ルートを認識してもらえらるような工夫をしている事例が紹介された。

[生活安全部会]

<部会長より報告>

※配布資料「生活安全部会資料」を参照

- ・「あいさつ励行」「歩行たばこ禁止」「マナー向上」キャンペーンを、東大宮、七里、大和田の各駅で実施した。参加された委員の皆さま、お疲れさまでした。
- ・平成20年度の標語募集について、準備を進めている。今回は、小・中学生の他、一般からも募集の予定。
- ・拡大区民会議では、1)区民相互のコミュニケーションづくりと安心安全なまちづくり 2)防災に対する生活安全部会としての関わり方 3)歩行たばこ禁止に向けた条例改正を求める運動の推進の3つのテーマについて意見交換を予定している。
- ・「歩行たばこ禁止」テーマでは、歩行たばこ全面禁止に向けた条例改正を求める運動を呼びかけたい。現行の条例では、特定禁止区域内のみ罰則規定が適用になっているため、この部分を全市に拡大するよう求めている。また、他の区民会議への呼びかけも行いたい。

[自然環境部会]

<部会長より報告>

※配付資料「自然環境部会より」を参照

- ・「見沼区のシンボル」について、3/31に応募を締め切り、4/2に集計を行った。応募人員は、800名であった。
- ・得票率の高い順に、見沼区八景と見沼区の木・花・鳥・蝶を選定した。（※蝶は決定に至らなかった）

[見沼区八景]

- ・深作多目的遊水池と丸ヶ崎・深作の田んぼ

- ・見沼代用水東縁と加田屋の田んぼ
- ・見沼代用水東縁とヒガンバナ・ノアザミ群生地
- ・萬年寺と片柳の田んぼ&斜面林
- ・染谷ふるさとの緑の景観地
- ・円蔵院と上山口新田の田んぼ
- ・クマガイソウの里
- ・大和田緑地公園と芝川

[見沼区の木]

- ・サクラ

[見沼区の鳥]

- ・カワセミ

[見沼区の花]

- ・クマガイソウ

[見沼区の蝶]

- ・アゲハチョウ

・今後、見沼区のシンボルについて様々な機会を捉えて周知を図りたい。区民会議のホームページを使うほか、一般新聞・タウン誌への記事掲載依頼、見沼区ガイドブック改定の際に掲載、標語の看板やチラシなどにアクセサリーとして挿入する、コミュニティバスの中刷り、などが考えられる。

→区民から、周知に使用する写真を募集するとよい。

→蝶に詳しい専門家から、ツマキチョウやゴマダラチョウなど、もっと見沼区らしい蝶に注目してはどうかとの意見があった。

→一般の人は、モンシロチョウやアゲハチョウなどしか知らない人が多い。

→募集する際に、それぞれ候補に関する情報提供が少なかつたのかもしれない。

・第5回ふるさと発見てくてく見沼の日程を、10/4(土)に決めたい。これに向けて、準備を進めたい。

・水辺地のゴミ対策について、5/7(水)に部会として現地調査を実施する予定。現地調査の結果を受けて、その後の検討を行いたい。

[広報委員会]

<委員長より報告>

※配布資料「区民会議だより第12号素案」を参照

- ・6月1日の発行を目指し、準備を進めている。
- ・別紙資料の通り、紙面割りを進めている。
- ・ホームページについても、新年度の内容で更新を行っている。委員の皆さまにも、ぜひご覧いただきたい。
- ・拡大区民会議での報告を受けて、掲示板の運用方法を再検討したいと考えている。

(3) 活動報告書について

※配付資料「平成19年度見沼区区民会議活動報告書(案)」を参照

- ・資料を基に、活動報告書(案)の説明が行われた。

■次回会議日程

○全体会：5月29日(木) 18:30～に決定した。

○役員会：5月21日(水) 18:30～に決定した。